

Ledya Home Doctor

レディアホームドクター

Q&A

レーザーを使った新しい下肢静脈瘤の治療法があると聞いたのですが、どのような治療ですか。

手術と同等の効果がある 血管内レーザー治療法

「下肢静脈瘤」はクモの巣状静脈瘤、網の目状静脈瘤、側枝型静脈瘤、伏在型静脈瘤に分類されます。お尋ねの治療法は、伏在静脈の弁が壊れて血液が逆流し、太腿・膝の内側、ふくらはぎ、下腿の静脈が太くなって(3mm以上)蛇行する伏在型静脈瘤の治療で、血管内レーザー治療法といいます。従来から行われている標準的ストリッピング手術と同等の治療効果があるうえにメスを入れない、外来でできる治療で日常生活への影響が少ないなどの利点があります。

2002年に波長810nmの半導体レーザーがアメリカFDAで認可を得て、それ以後急速に北米、南米、ヨーロッパおよびアジアで広まっています。特に欧米では下肢静脈瘤の中心的な治療法になっています。最新の半導体レーザーは2008年に認可された波長1470nmの半導体レーザーです。静脈に直接作用する波長なので今までよりも低エネルギーで治療できるため、治療後の皮下出血や痛みも少なくなってきました。当クリニックでも昨年より導入し実際に治療を行っています。低侵襲で体に優しく、合併症も少ないため安心して治療ができます。しかし自費診療であるために、今のところまだ普及していません。



回答医師

諸國 眞太郎 先生

医療法人社団操仁会理事長。岡山第一病院 下肢静脈瘤日帰りセンター長(1)。諸國眞太郎クリニック院長(2)。1981年岡山大学医学部卒業。末梢動脈疾患、下肢静脈瘤など血管外科に携わる。

■ (1) 岡山市高屋343 TEL.086-272-4088

■ (2) 岡山市錦町6-17 OWLSTYLE錦町2 4階
TEL.086-224-1313

URL <http://www.varix.jp> E-mail laser@varix.jp